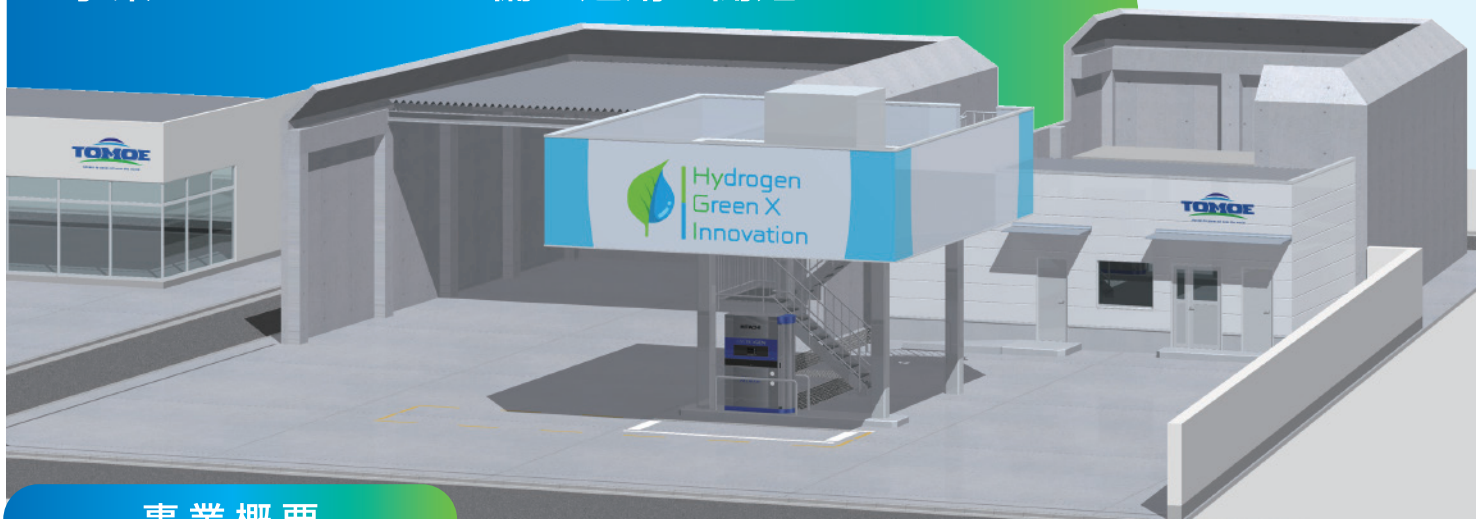


# 都内初！

## 新宿区西新宿四丁目にグリーン水素を取り扱う 水素ステーションの整備・運用を開始



### 事業概要

画像はイメージです。実際と異なる場合があります。

株式会社巴商会（本社：東京都大田区、代表取締役社長：西村 長之）は所有地を活用して、新宿区西新宿四丁目に「西新宿水素ステーション」を設置する計画を発表しました。本ステーションは、国内初となるグリーン水素供給の体制を備えた施設として、ゼロエミッションモビリティの普及促進を目指します。

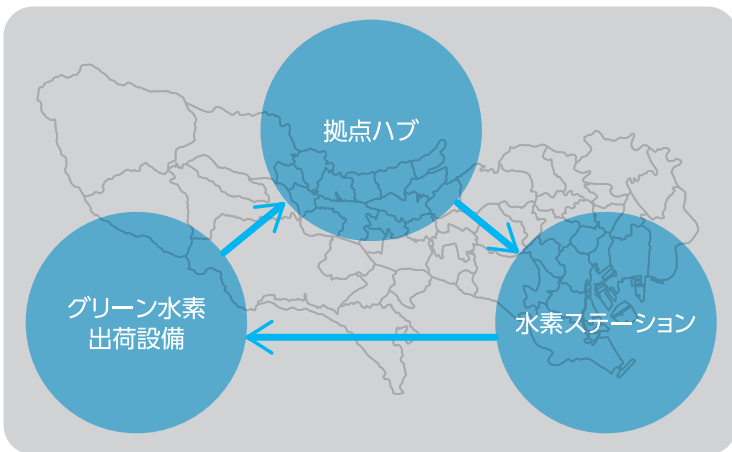
### 都内初のグリーン水素ステーション開設

本事業は、「ゼロエミッション東京戦略（東京都）」の目標である2030年のカーボンハーフ、2050年のCO<sub>2</sub>排出実質ゼロの達成を支える取り組みのひとつです。グリーン水素供給拠点として定置式水素ステーションを整備し、燃料電池バスや燃料電池トラック、FCVなどへの水素供給を行います。

### グリーン水素のサプライチェーン構築

当社は、グリーン水素のサプライチェーン構築において、株式会社やまなし水素カンパニー（YHC）と連携し、出荷拠点および輸送インフラの整備を進めております。再生可能エネルギーから生まれるグリーン水素は、本ステーションへ供給され、都内における水素利用拡大に活用されます。

グリーン水素の活用によるCO<sub>2</sub>排出削減やゼロエミッションの推進を通じ、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



当社は引き続き、グリーン水素の普及を通じて脱炭素社会の構築に貢献してまいります。

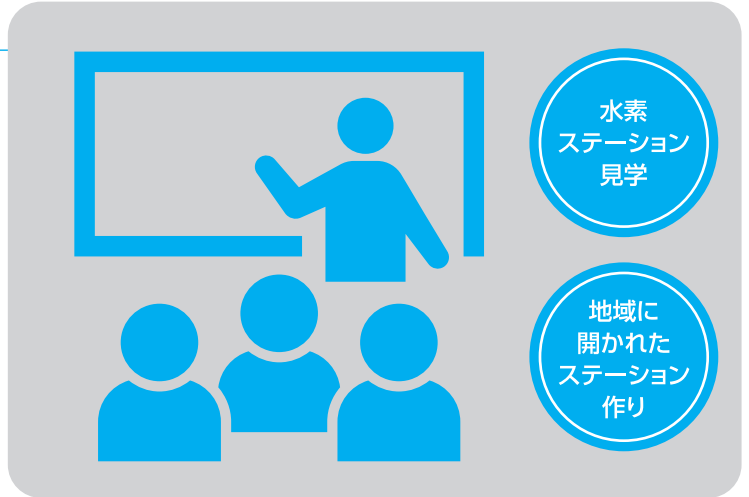
裏面に、続く！

水素エネルギーをもっと身近に

情報発信施設としての活用

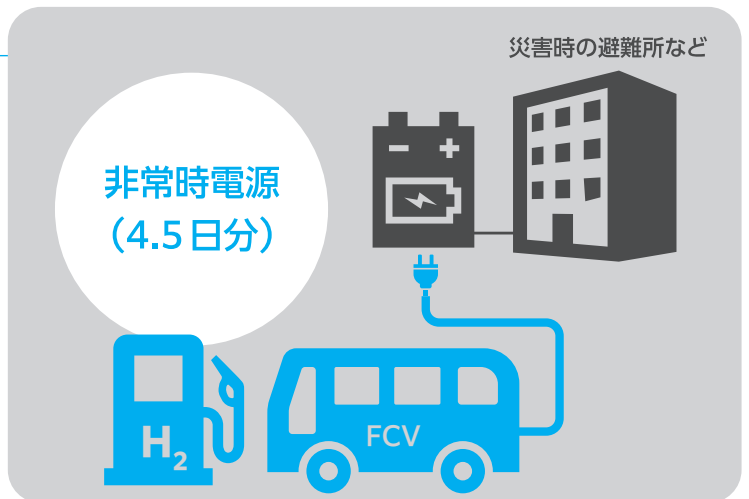
本ステーションにご来場いただく方々に水素エネルギーへの理解を深めていただけるよう、見学施設を備えた計画となっております。

水素エネルギーの役割や将来に向けた取り組みを紹介することで、環境課題に関心を持つ方々や学生などの若い世代を含め、より多くの方々に水素エネルギーへの理解を深めていただけるよう、積極的に情報発信を行ってまいります。



地域社会への貢献

また、水素燃料電池は災害時の非常用電源機能としても有効活用できます。東京都の防災の取り組みのひとつである「水素ステーション等と連携した燃料電池バスによる停電時の給電支援」活動に参画し、災害時の避難所への電力供給体制の整備を計画しています。災害時には最大で4.5日分の消費電力相当を供給し、避難所の照明や情報端末の充電、施設設備の稼働などを支えることを見込んでいます。



グリーン水素の未来を拓く

本ステーションの整備・運用は、グリーン水素を社会インフラとして定着させるための重要な基盤となります。

都庁に隣接する本ステーションには、多くの方々が訪れることを想定しております。ご来場の皆様には、水素エネルギーがさまざまな水素モビリティに供給される様子をご覧ください。また、交通手段と環境の調和を実現する持続可能な都市モデルとしての役割も担い、水素社会の未来を身近に感じていただけることを目指してまいります。

